

# 埼玉県地域医療構想の概要

## 構想策定の趣旨

急速な高齢化の進展による医療需要・介護需要の大きな変化が見込まれる中、医療や介護を必要とする県民が、できる限り住み慣れた地域で必要なサービスを受けられる体制を確保することが求められる

限られた医療資源を効率的に活用できる医療提供体制の「将来像」を明らかにすることが必要

## 地域医療構想の策定

## 構想の性格

- 医療法により都道府県に策定が義務付けられている医療計画に定める事項として規定
- 平成37年(2025年)の医療提供体制に関する構想
- 第6次の地域保健医療計画の一部として策定

## 策定の経緯等

- 地域保健医療計画等推進協議会(2回)
- 医療審議会(4回)
- 地域医療構想検討会(3回)
- 地域保健医療協議会(各区域)
- 6月定例県議会(行政報告)
- 県民コメント、関係団体等照会
- 9月定例会議決
- 策定
- 地域保健医療・地域医療構想協議会(地域医療構想調整会議)における構想実現に向けた検討
- 第7次地域保健医療計画の施策への反映

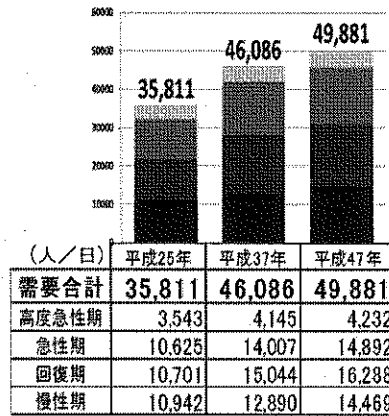
## 区域の設定

「構想区域」は埼玉県地域保健医療計画に定める「二次保健医療圏」と同様とする。



## 平成37年(2025年)における医療需要

### 入院患者の医療需要推計



### 需要推計を踏まえた必要病床数(推計)と病床機能報告による病床数の比較

	平成27年度 病床機能報告	平成37年 必要病床数	差引
合計	50,023	54,210	▲4,187
高度急性期	6,389	5,528	861
急性期	24,674	17,954	6,720
回復期	4,023	16,717	▲12,694
慢性期	12,552	14,011	▲1,459
無回答	2,385	—	—

### 在宅医療等の必要量の推計

	平成25年	平成37年
(人/日)	46,152	82,372

在宅医療等とは、居宅に限らず、特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、有料老人ホーム、介護老人保健施設、その他医療を受ける者が養老生活を営む場であって現在の病院・診療所以外の場所において提供される医療を指す。

## 医療提供体制の整備の方向性

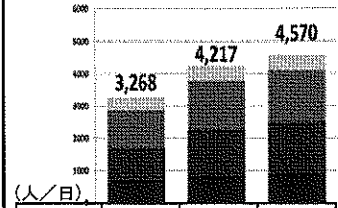
- 医療機能の分化・連携を進め、高度急性期から回復期、在宅医療等まで切れ目のない医療供給体制を整備します。
- 医師の診療科偏在や地域偏在の解消に取り組み、住み慣れた地域で必要な医療を受けられる体制作りを進めます。
- 地域包括ケアシステムの構築に併せ、在宅医療連携拠点等の機能強化や、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士等の確保・養成等、在宅医療体制の整備を進めます。
- ICTを活用した医療・介護連携システムの構築を進めます。

## 地域医療構想の推進体制

- 地域保健医療・地域医療構想協議会(地域医療構想調整会議)の設置  
将来の必要病床数を達成するための方策やその他の地域医療構想の達成を推進するために必要な事項について協議を行う場として、区域ごとに「地域保健医療・地域医療構想協議会」を設置します。
- 病床機能報告制度の活用  
毎年度実施される病床機能報告の結果を活用して、各区域における病床の機能区分ごとの将来の必要病床数との比較を行い、地域の課題を分析することにより病床の機能の分化・連携を推進します。
- 埼玉県地域医療介護総合確保基金の活用  
地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備において、財政的支援が必要な事業については、埼玉県地域医療介護総合確保基金を活用して必要な経費を支援します。

**南部**

入院患者の医療需要推計



需要推計を踏まえた必要病床数(推計)と病床機能報告による病床数の比較

	平成27年度 病床機能報告	平成37年 必要病床数	差引
合計	4,120	5,025	▲905
高度急性期	996	609	387
急性期	2,099	1,922	177
回復期	302	1,623	▲1,321
慢性期	723	871	▲148
無回答	226	—	—

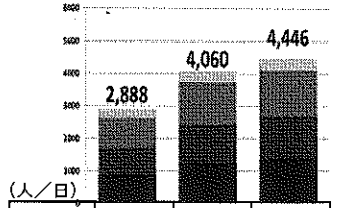
在宅医療等の必要量の推計

	平成25年	平成37年
合計	6,225	10,740



**南西部**

入院患者の医療需要推計

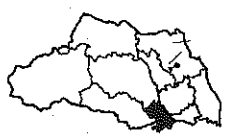


需要推計を踏まえた必要病床数(推計)と病床機能報告による病床数の比較

	平成27年度 病床機能報告	平成37年 必要病床数	差引
合計	3,734	4,777	▲1,043
高度急性期	391	425	▲34
急性期	2,196	1,685	511
回復期	168	1,356	▲1,188
慢性期	979	1,311	▲332
無回答	175	—	—

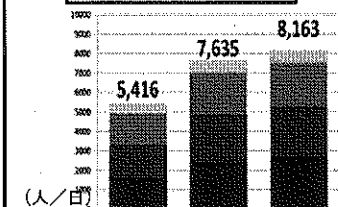
在宅医療等の必要量の推計

	平成25年	平成37年
合計	3,647	7,039



**東部**

入院患者の医療需要推計



需要推計を踏まえた必要病床数(推計)と病床機能報告による病床数の比較

	平成27年度 病床機能報告	平成37年 必要病床数	差引
合計	7,133	8,935	▲1,802
高度急性期	142	831	▲689
急性期	4,364	2,783	1,581
回復期	901	2,734	▲1,833
慢性期	1,726	2,587	▲861
無回答	341	—	—

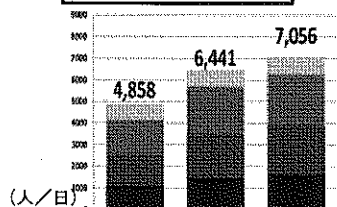
在宅医療等の必要量の推計

	平成25年	平成37年
合計	6,171	12,101



**さいたま**

入院患者の医療需要推計



需要推計を踏まえた必要病床数(推計)と病床機能報告による病床数の比較

	平成27年度 病床機能報告	平成37年 必要病床数	差引
合計	6,879	7,664	▲785
高度急性期	1,478	1,039	439
急性期	3,546	2,770	776
回復期	362	2,301	▲1,939
慢性期	1,493	1,554	▲61
無回答	128	—	—

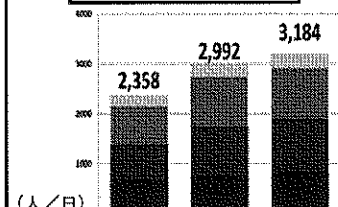
在宅医療等の必要量の推計

	平成25年	平成37年
合計	10,814	18,785



**県央**

入院患者の医療需要推計



需要推計を踏まえた必要病床数(推計)と病床機能報告による病床数の比較

	平成27年度 病床機能報告	平成37年 必要病床数	差引
合計	3,221	3,534	▲313
高度急性期	391	344	47
急性期	1,721	1,273	448
回復期	232	1,120	▲888
慢性期	877	797	80
無回答	304	—	—

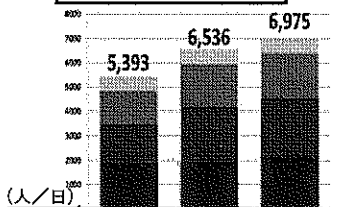
在宅医療等の必要量の推計

	平成25年	平成37年
合計	2,628	4,874



**川越比企**

入院患者の医療需要推計

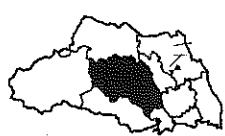


需要推計を踏まえた必要病床数(推計)と病床機能報告による病床数の比較

	平成27年度 病床機能報告	平成37年 必要病床数	差引
合計	6,816	7,652	▲836
高度急性期	1,763	802	961
急性期	2,566	2,260	306
回復期	703	2,518	▲1,815
慢性期	1,784	2,072	▲288
無回答	457	—	—

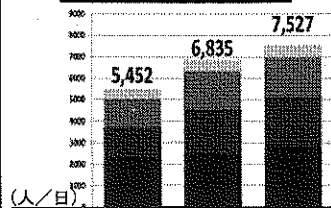
在宅医療等の必要量の推計

	平成25年	平成37年
合計	4,816	8,799



西部

入院患者の医療需要推計



	平成25年	平成37年	平成47年
需要合計	5,452	6,835	7,527
高度急性期	434	520	527
急性期	1,305	1,755	1,871
回復期	1,467	2,133	2,333
慢性期	2,246	2,427	2,796

需要推計を踏まえた必要病床数(推計)と病床機能報告による病床数の比較

	平成27年度 病床機能報告	平成37年 必要病床数	差引
合計	6,921	7,951	▲1,030
高度急性期	780	694	86
急性期	2,961	2,249	712
回復期	663	2,370	▲1,707
慢性期	2,517	2,638	▲121
無回答	429	—	—

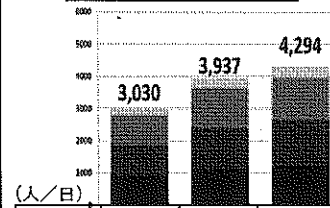
在宅医療等の必要量の推計

	平成25年	平成37年
合計	4,350	8,938



利根

入院患者の医療需要推計



	平成25年	平成37年	平成47年
需要合計	3,030	3,937	4,294
高度急性期	265	319	324
急性期	925	1,233	1,329
回復期	941	1,303	1,431
慢性期	899	1,082	1,210

需要推計を踏まえた必要病床数(推計)と病床機能報告による病床数の比較

	平成27年度 病床機能報告	平成37年 必要病床数	差引
合計	4,220	4,630	▲410
高度急性期	38	426	▲388
急性期	2,707	1,580	1,127
回復期	383	1,448	▲1,065
慢性期	1,092	1,176	▲84
無回答	203	—	—

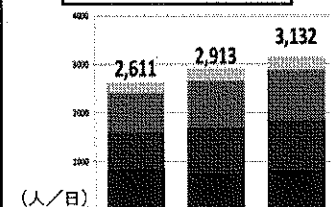
在宅医療等の必要量の推計

	平成25年	平成37年
合計	2,849	4,547



七部

入院患者の医療需要推計



	平成25年	平成37年	平成47年
需要合計	2,611	2,913	3,132
高度急性期	214	245	247
急性期	806	981	1,038
回復期	765	959	1,042
慢性期	826	728	805

需要推計を踏まえた必要病床数(推計)と病床機能報告による病床数の比較

	平成27年度 病床機能報告	平成37年 必要病床数	差引
合計	3,788	3,442	346
高度急性期	410	327	83
急性期	2,155	1,258	897
回復期	238	1,066	▲828
慢性期	985	791	346
無回答	98	—	—

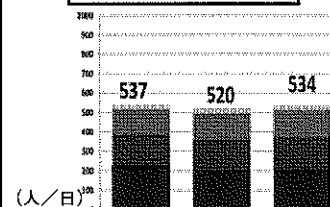
在宅医療等の必要量の推計

	平成25年	平成37年
合計	3,771	5,541



秩父

入院患者の医療需要推計



	平成25年	平成37年	平成47年
需要合計	537	520	534
高度急性期	23	24	23
急性期	129	136	138
回復期	154	163	167
慢性期	231	197	206

需要推計を踏まえた必要病床数(推計)と病床機能報告による病床数の比較

	平成27年度 病床機能報告	平成37年 必要病床数	差引
合計	806	600	206
高度急性期	0	31	▲31
急性期	359	174	185
回復期	71	181	▲110
慢性期	376	214	162
無回答	24	—	—

在宅医療等の必要量の推計

	平成25年	平成37年
合計	881	1,008

